



謹んで新春のお慶びを申し上げます！

皆様には、日頃より温かいご支援を頂き、心より感謝申し上げます。

昨年末に政府が発表した「全国地震動予測地図」によりますと、今後30年以内に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率が上昇しました。

5年毎に見直す(本年3月改定)港区地域防災計画には、皆様からのご意見も踏まえた我が党の議会での提案が、数多く盛り込まれています。

本年も「安心安全の港区」の構築に向け、全力を尽くして参ります。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。



❀ 港区地域防災計画(素案)が示されました ❀

今回の改定に新規に盛り込まれたもの

1. 災害に強い街づくりを推進する

- ・津波・液状化の対策
- ・古川洪水対策・竜巻への対応
- ・放射能・放射線対策

津波表示板設置
ハザードマップ
も作成します！

2. 人のつながりにより地域防災力を向上させる

- ・帰宅困難者対策
- ・防災士資格取得支援・防災学校の開催
- ・高層住宅の震災対策
- ・緊急エリアメールの整備
- ・女性の視点を取り入れる等避難所機能強化
- ・医療救護体制の強化

3. 被災者の生活を早期に回復させる

- ・災害証明書発行業務の基準の明確化及び事務の迅速化

- ★区民避難所
(小中学校・いきいきプラザ等)
- ★福祉避難所
(高齢者や障がい者の施設)

その他

- ・災害対策本部組織の変更
- ・避難所機能や備蓄の考え方の見直しと名称変更
- ・教職員を災害対策本部員に位置付け
- ・指定管理者との役割分担の明確化
- ・区独自の津波・液状化シミュレーション結果の反映

❀ 1/25迄区民の皆様からのご意見募集中 ❀

地震や水害等の災害に強い街づくりの実現に向け、是非、皆様のご意見をお寄せください！

❀ 港区地域防災計画(素案)は防災課(区役所5階)、港区防災街づくり整備指針(素案)は都市計画課(区役所6階)、その他、港区ホームページ、各総合支所で閲覧可能！

❀ また、区民センターにて区民説明会も行われます。1/11(高輪)、1/12(港区役所)、1/16(赤坂)、1/17(麻布)、1/18(男女平等参画センター)、1/21(台場) ご意見はホームページ「施策・計画に対するご意見」、又は担当課へ郵送・ファックスで。



質問項目

港区議会第4回定例会報告

11/28~12/5

- *平成25年度予算編成
- *義務付け・枠付け見直しに伴う条例制定の取り組み
- *田町駅東口北地区公共公益施設の管理運営

- *震災対策
- *生活保護
- *高齢者・障がい者施策
- *子ども・子育て支援
- *緑化施策の推進

- *子宮がん併用検診
- *高さ制限導入
- *浜松町駅西口地区の開発計画
- *小中一貫教育の取り組み

活動報告

「近藤まさ子」ホームページ＆ブログより

11/1 「エコミラ江東」視察

都内ソーシャル・ファームの先進事例



障がい者が発泡スチロールをペレット化するリサイクル作業を行っています。設備等は企業、発泡スチロールの収集は江東区、効率の良いリサイクル作業となるよう区民がゴミ分別も協力、リサイクル製品を買取る企業もあり、「エコミラ江東」に持ち込まれた物は、すべて形を変えて販売されています。

区民、企業、区が協力をして、環境、障がい者就労、心のバリアフリーの啓蒙等、多くの成果をあげていました。

単に福祉的な作業所ではなく、「働く」厳しさを訓練されることで、障がい者にもプロ意識が生まれ、自ら汗して働くことにより、親を扶養する、新たな職場を目指す、結婚願望が芽生える等、人間性を輝かせることになると痛感しました。

港区でもこうした取り組みが実現できるよう提案質問して参ります。

11/20

第5回健康長寿 in みなと
高輪区民センターにて



高齢者の皆様がいづれも元気に明るく過ごせるよう、そのための情報発信と体験のイベントです。

介護予防リーダー・介護予防サポーター（区民ボランティア）が、いきいきプラザや高齢者相談センター等と連携して、イベントを盛り上げていました。

骨密度測定と脳ドリル、お口の体操、栄養コーナー、健康ボクササイズ、リズム体操、ノルディックウォーキング、ボール体操、ビリヤード体験等、ホールでは、「お口から健康力アップ」基調講演、介護予防実践講座、介護予防体操等、10:30～15:40 盛り沢山のイベントでした。

障がい者の真の自立のための支援とは？ 区の考えを質しました！

障がい者が一般の人と同様の普通（ノーマル）の生活・権利等が保障されるように、環境整備を目指す理念を「ノーマライゼーション」といいます。50年以上も前にヨーロッパで誕生しました。

この10年で、日本の障がい者施策も大きく変わり、障がい者を保護し措置する施策から、難病の方を含めたハンディのある方全体の自己決定権を尊重できる「支援」という形になります。

こうした施策の転換と同時に、一番大切な事は、障がい者自身も、親も、行政も、そして、日本全体の意識の転換であり、それこそが真のノーマライゼーションの確立につながると考えます。

高齢者の食育の推進 について質問！

肉・卵等の蛋白質が不足すると、筋肉が衰えて転び易くなり、免疫力が低下して病気にかかり易くなり、心臓病・脳卒中にもなり易くなる「**新型栄養失調**」の危険が増します！

特に一人暮らしの男性への意識啓蒙が急務と考えます。

★雑感★ 選挙権について

昨年末に国政選挙がありました！

公示翌日に「投票所入場整理券」が届きますが、裏面に期日前投票のご案内と「投票宣誓書」もあります👏

自治体によって様々ですが、港区での取組は進んでいて、この宣誓書に書き込んで期日前投票所に持参すれば、すぐに投票ができます👏

我が家では車椅子👤の次男（両下肢機能障がい）と共に、バリアフリーとなっている期日前投票所に行きますが、長男（重度重複障がい、障がい程度区分6）にも、「投票所入場整理券」は送られてきますが、代理人投票も郵便投票もできません👤

意思確認ができないとの理由からです👤

日頃から「**声にならない声**」にもしっかりと耳を傾けることを心がけ活動している近藤まさ子ですが、長男の他にも、こうした方々の貴重な一票が活かされない状況に心が痛みます👤

例えば、在宅の要介護5の方は郵便投票ができますが、要介護4にも認めて欲しいとのお声を頂きました！同じ要介護4の方でも「指定病院等」に入院や入所していれば、その場で投票することができます👤

選挙権行使における不公平感が拭えません👤

被後見人の選挙権もまだ認められていません👤

公職選挙法の改正を国に求めてまいります👤